

明日に向かつて ともに創る

115

大船渡市長 戸田公明

できるだけ多くの方々がワクチン接種を！

9月25日現在、ワクチン2回接種者は12歳以上の全接種対象者の約64%（全人口にすれば合計は約60%）まで進んできました。改めまして医療関係者および市民の皆さんのご協力に感謝申し上げます。

感染力が強いとされるデルタ株について、昨今の研究によれば、感染した人のウイルス量はワクチン接種者と非接種者の間で変わらず、両者の感染力には差がないと考えられています。ここでもう一度、ウイルス、ワクチン、感染の関係について整理しておきます。

・「ワクチンを接種した人」は感染しても免疫力がついているため発症しにくいですが、他人に感染させる可能性がありません。

・「ワクチンを接種していない人」は感染すると免疫力がついていないため発症し（軽症↓中等症↓重症のリスクがあります）、他人に感染させる可能性がありません。

このように接種者・非接種者の違いは、感染した場合、発症しにくい・発症するかの差です。接種者が感染した場合、厚生労働省によると約95%は発症を防ぐとの研究結果があります。また、今までのウイルスでは

集団免疫獲得のためには、人口に対して60〜70%の接種率が必要との見方がありました。感染力の極めて強いデルタ株に対しては80〜90%と考えられています。これは人口全体に対する接種率ですので、11歳以下は接種対象外であることを考慮すると、12歳以上の接種対象人口で考えれば、接種率はさらに高く85〜95%の人への接種が必要ということとなります。

欧米の接種状況では全人口の70%を超すことが壁になっているとの報道がありました。本市は今まさにそこに到達しようとしています。コロナ禍を収束させるためには、今一段の接種率の伸びにかかっています。誰もが願う一刻も早い収束です。

そのためには、特別な事情の無い限り、できるだけ多くの人にワクチン接種をしていただく事です。国は、希望者全員に接種する体制を構築しています。

一方で、残念ながら反ワクチン本や、SNSなどで「ワクチンで不妊」「ワクチンで流産」「ワクチンで遺伝情報書き換え」「接種によって感染」「ワクチンにマイクロチップ」「接種部に磁石がくっつく」などのさまざまな真実でない情報が流されていますが、全て専門機関により否定されています。

このような情報に接し、ワクチン接種を懸念する人がいましたら、ぜひインターネットで「ワクチン誤情報」を検索してみてください。公的機関による多数のウェブサイトが現れます。

サイトをいくつか確認していただくだけで、不妊、流産、遺伝情報書き換えなどの情報は誤っていることが確認できます。10月を迎え、半年間にわたった接種も終盤を迎えています。市では集団接種の日程を追加するなど円滑な接種を進めていきます。

ご自身の健康と命を守るため、ひいては他人の健康と命を守るため、ぜひ前向きに考えていただきますようお願いいたします。

大船渡市立図書館に指定管理者制度を導入します

指定管理者制度の必要性と目的

近年、公共図書館は、利用者の皆さんへのさらなるサービス向上や、多様化する住民ニーズに効率的・効果的に対応することが求められています。

このため、民間企業の有している専門的な知識や技術などのノウハウを最大限活用することにより、さまざまなサービスの向上が見込まれるため、指定管理者制度を導入することとしました。

指定管理者制度の導入の効果

制度の導入により、専門家である図書館司書の確保や、的確なレファレンスサービス（※）、ニーズを踏まえた本の紹介など、サービス全体の質の向上が図られ、市民の皆さんによりよいサービス

を提供することができます。

また、おはなし会、各種講座や読書会など、市立図書館の自主事業の充実も期待されます。

なお、市立図書館の利用方法については、従来と変わりはありません。

図書館業務の指定管理を行う法人または、法人で組織する団体を募集します

- ▷募集期限＝11月15日(月)午後5時必着
- ▷指定期間＝令和4年4月1日から令和7年3月31日までの3年間
- ▷その他＝要項や応募書類などは、市ホームページからダウンロードできます。
- ▷応募先・問い合わせ先
大船渡市立図書館 ☎261040

※レファレンスサービスとは、皆さんの調べもののサポートを、図書館の資料を使って行うサービスです。